

えんだよい 12がつごう



2023・12・7

発行: 桜本保育園

044(288)2545



こんげつ せいく
今月の聖句

「平和の君と唱えられる」

「ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちと与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、『驚くべき指導者、力ある神、永遠の父、平和の君』と唱えられる。」 (イザヤ書9章5節)

戦争と社会不安の絶えない今日、人々の幸せを願う、人間の持つ可能性を思い出させてくれる、一冊の絵本に出会いました。それは鈴木まもる文・絵『戦争をやめた人たち』です。

物語の舞台は1914年、第一次世界大戦開戦からわずか5カ月後のクリスマスイブです。戦場で敵対していたドイツ軍とイギリス軍の兵士たちが、クリスマスの前後の数日間だけ休戦したという、いわゆる「クリスマス休戦」についてのお話です。作者は、この絵本が完成した頃にロシアのウクライナ侵攻がはじまり、「また『戦争』をはじめ人間がいる現実に愕然としつつ、戦争することよりも強い、人の優しさと想像力が描きたくて…」と語り、急遽最後のページに、「この星に、戦争はいりません」と語っているかのように、手を繋いで輪になっている民族衣装をまとったウクライナの子どもたちを描いて物語を締めくくっています。

今月の聖句は、イザヤという預言者の言葉です。イスラエルという国は、国内の不安定から南北に分裂し、国外からは周辺の大国から攻められ、戦いの絶えない時代に、光が見えない状況に不安を感じ、嘆きの声をあげながらも、絶望の闇に希望の光をもたらす、神の救いがもたらされることを宣言します。まことの救い主が与えられると。

神さまの願いは、私たちが悲しむことではなく、喜ぶことです。私たちが恐れを抱くことではなく、平安にいますことです。私たち一人ひとりが、幸せに生きてゆくことです。このような神の愛を見える形で示すために来られたのが救い主イエスさまであります。ろうそくが溶けてちいさくなりながら周りを照らすように、イエスさまはご自分の命をかけて、私たち一人ひとりの幸せを願ってくださいました。そしていまも願い続けてくださっています。クリスマス待つこの時、イエスさまの愛の光は私たち一人ひとりを照らしています。

「平和の君と唱えられる」まことの光に照らされ、見守られますように。神さまの平安が皆さんのうちに共にありますように。

(チャブレン 鄭 富京)



News・おしらせ・알림・balita

☆よてい

- 12月 6日(水) アドベント礼拝②
- 13日(水) アドベント礼拝③
- 16日(土) クリスマス祝会
- 20日(水) アドベント礼拝④/園児健診
- 29日~1月3日 おやすみ
- 1月 17日(水) 園児健診
- 20日(土) クラス懇談会

☆おなかに あかちゃんがいます。

H職員・Y職員

ふたりとも 新米ママなので 先輩ママたち
よろしく おねがいします。

Noticias・通知・Tin tức

~みそづくり~ みんなで だいずを つぶしました。 そのあと だれもさんが こうじを まぜて みそだまをつくり たるのなかに…。 春は だれもさんに おしえてもらいながら こんかいは だれもさんだけで やりました。



11月から 保育参加が始まり こどもたちも 嬉しそうにしています。 参加したおうちのひとも 楽しかったと 帰っていきたくてくれます。

0・1クラスは 家庭訪問が はじまりました。 こどもの 素敵な姿を 共有しながら 子育てを たすけあつていきたいと思います。

保育参加で こどもの 姿を ぜひ 見に来てください。

こんげつの フォト

